



ろうきん 全労済

働く仲間のゆめ・みらい基金



～子どもは私たちの、ゆめ・みらい～



基金レポート 2019



職場・ご家庭へ

本書は、沖縄の「子どもの貧困」の解決に向けて立ち上がった本気の大人たちの活動記録です。

感謝をこめて

ゆめ・みらい基金 おおきな広がり!

公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会 理事長 大城 紀夫

2018年度からこくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部も参画する「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」は、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会も含め大きな広がりを見せており、2018年度 の定額自動寄付や団体寄付、労金社会貢献寄付、こくみん共済 coop〈全労済〉及びこくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場からの寄付等(合計 953 万円)をいただきました。

これらの寄付により、様々な困難を抱える子どもと親世代に対する「働く」につながる支援がより進んでおり、生活の安定化や就労開始、高校生の資格取得など、様々な支援を行うことができました。

このような「ゆめ・みらい基金」の取り組みは全国的にも注目を集めており、各県においても同様の取り組みに向けた検討が進められていることを頼もしく感じています。

子どもの貧困とその根本的要因である親の貧困を解消し、子どもたちが未来に向けて夢と希望を持てる社会づくりに向け、全ての働く仲間と労働組合・退職者会とろうきん、こくみん共済 coop〈全労済〉、沖縄県労協などが連帯し今後も取り組んでいきたいと思います。

働くことを軸とする支え合える社会へ

連合沖縄 会長 大城 紀夫

連合は、「働くこと」に最も重要な価値を置き、自立と支え合いを基礎に誰もが公正な労働条件のもとで多様な働き方を通じて社会に参加することを目指し、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、組合員からカンパを集約し「愛のカンパ」としてNGO・NPOへの資金提供や大規模災害・被災地へのカンパ贈呈や支援ボランティアなど取り組んできましたが、さらに連合運動をステップアップすることを目的に「支え合い・助け合い運動」(ゆにふぁん)の取り組みを通じて、労働組合の社会的認知度を高めていくことが求められています。

連合沖縄は、「支え合い・助け合い運動」の取り組みについて、2019年10月から連合ウェブサイト内に開設する「ゆにふぁんマップ」を活用して「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」の活動を全国の皆さんへ周知し、共助支援の輪を広げていこうと考えています。

そして、ゆめ・みらい基金の活動推進によって「働く人を支え、働く人が社会を支え、支えられた人が働く」頼り合える社会へつなげていければと思います。

「誰一人取り残さない」社会づくりへ

こくみん共済 coop〈全労済〉 沖縄推進本部 本部長 大庭 雄一

労働者福祉事業団体が中心に運営しています「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」は、沖縄県内で直面している社会的課題である「子どもの貧困」への支援活動として共感の輪が広がっています。

今後、この「共感の輪」が共に「助け合いの輪」へとさらに広がりを見せ「誰一人取り残さない」社会づくりの一助となり、「社会的労働運動」として継続的な運営となることを願っています。

こくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部は、組合員の皆さまのこの基金活動に対するご理解と共感が高まってきたことが要因となり、昨年度よりも新規契約件数が増加し寄付金額を増やすことができました。

また、指定整備工場沖縄県協議会も2018年度の車検入庫の年間台数に応じた寄付金を各指定整備工場から行うことになり、結果としまして、年間車検入庫目標を超える車検入庫があったことから当初寄付金予定額より多く寄付することができました。

労働者福祉事業団体間で「共創」したこの基金活動を通して、助け合いの輪が結ばれることによって、こくみん共済 coop〈全労済〉の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現をめざしていきます。

0150ゆめ・みらい運動への参画をお願いします!

沖縄県労働金庫 理事長 高良 恵一

「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」にご協力いただきました皆様に心から感謝と敬意を表します。

2018年度は、基金財源確保の中心となります「0150ゆめ・みらい運動」の毎月定額寄付に加え、会員組織、推進委員会、労金窓口における個人や団体から多くの寄付が寄せられ、これまで以上に力強い取り組みになるものと期待は膨らんでいるところです。

みなさまには、本レポートに掲載された「基金によせられた声」を是非ともご一読お願い申し上げます。「制服や体育着の購入」「資格受験費用」「孫の学童費」等、ささやかな日常生活を紡ぐことに苦悩し疲弊する現状が私たちの身近にあります。しかしながら、「ゆめ・みらい基金」に集う多くの仲間の皆様が、「共助・共感の輪」を広げていることにより着実に改善に向け進んでいること、一人ひとりの「志」の結集が、想像を上回る成果や喜びを生み出していることもレポートは伝えており、仲間と共に、自信をもって運動を進めていくことの決意を新たにさせてくれます。

引き続き、子供たちの笑顔と夢や未来につなげる運動として取り組みを強化してまいりますので、職場、友人、地域の中で基金参加への呼びかけ、支援に関する情報、ご意見等をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

沖縄の子どもたちの 「ゆめ」と「みらい」へ



子どもたちの、今

沖縄県が公表した子どもの貧困の背景を探る「2018年度県小中学生調査報告書」では、「困窮層ほど父母とも不安定な職で労働日数が多く、子育てに対する負担感や孤立感を深めている実態」や「社会的支援を受ける機会や親子の関わりも少ない傾向にある」調査結果となっています。子どもへの調査でも、親と朝食や夕食を一緒に食べる、宿題を見てもらう頻度は困窮層ほど低い傾向にありました。

働き詰めで日々の生活にゆとりがないため子育てに充てる時間が短く、精神的負担も大きくなっているとみることができ、不登校児童・生徒数が多い状況等にも間接的に影響していることがうかがえます。

また、1年間に子どもを医療機関に受診させられなかった割合は、困窮世帯では約3割に上るなど、健康についても経済的理由で大きなリスクを抱えざるを得ない沖縄の子どもたちの割合の高さが際立っています。

子どもたちの教育や生活を取り巻く厳しい環境が本報告書等にも表れています。

働く仲間の、今

「子どもの貧困」の背景には、沖縄県の特徴としての「高い非正規雇用率」、「長時間労働」、「低賃金」など、労働者を取り巻く厳しい現実があります。「子どもの貧困」の解消には、労働世代である「親」の経済・生活基盤を安定させるための、「働くにつながる」、「収入向上」など伴走型支援の取り組みが必要です。

子どもたちが「ゆめ」をあきらめない社会へ

〈(公財)沖縄県労福協〉、〈連合沖縄〉、〈ろうきん〉、〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉、〈こくみん共済 coop(全労済)指定整備工場沖縄県協議会〉は、「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」を通して、会員・協力団体、そして県内の各労働団体と共に、「貧困の連鎖」を断ち、子どもたちの夢と未来を支えるための取り組みを協働で取り組んでいます。

共助・共感による共生社会の実現に向け、全県的な運動をめざし取り組みを進めています。

基金による支援の柱

「子どもの貧困＝親の貧困」の改善、解決に向け、以下の「働く」につなげる支援に取り組んでいます。

養育する子がいる世帯の親などへの
就学・就労支援および生活支援等

親(世帯)の収入の安定化へ

職業資格取得等にチャレンジする就学生
(職業高校等の高校生)への支援

資格を持つことによる
希望職種(夢)への就職支援

児童園等福祉施設退所者への自立支援

社会に羽ばたく際の公的支援が
及ばない部分のサポートなど

基金活用による支援取り組み事例

事例1 生活安定化支援・就労初期支援

初回給与までのつなぎ・タトゥー除去

申請時の状況

- 本人と子の2人世帯
- 母子支援施設入寮中
- 就労は決まったが、初回給与までの生活費がなく厳しい状態
- 就労している職場でタトゥーを隠しながら働いているが、隠すことが困難になってきた
- 希望した職種でもあるため、仕事は続けたい
- 資格取得も目指したいと意欲も上がっている

その後

- 現在も就労継続しており、自立に向かって前進している
- 無事にタトゥーの除去手術も成功し、職場でも気持ち的に楽になれた
- 仕事を続けられることが嬉しい

事例2 子育てと仕事の両立支援

学童料支援、家計支援

申請時の状況

- 祖父母と孫(小学校低学年)の3人世帯
- 祖父母のパート収入と児童手当のみで面倒を見ている
- 両親からの金銭援助はない
- 給食費滞納
- 学童費滞納
- 児童扶養手当手続き申請予定
- 孫は学童クラブのイベントや行事に楽しんで参加しており、継続を希望

その後

- 学童を継続して利用でき、元気に通っている
- 世帯収入増に向けた就労支援を行いながら見守り支援も継続

事例3 子どもへの支援

体育着・オムツ等の購入、家計支援

申請時の状況

- 夫婦・子4人の6人世帯
- 夫の体調不良で仕事を休む日が増えて収入減となる
- 妻もハンデキャップがある子の受け入れ先が決まらず、家庭内保育を余儀なくされ、働くことが困難
- 校納金数年分未納
- 体育着や子に必要な眼鏡も購入できず、病気を患っても病院受診ができない状況で不登校気味

その後

- 支援機関が相談者と一緒に支払い計画を立て、校納金の一部支払いや眼鏡の購入、ハンデキャップがある子のミルクやオムツ購入、医療費へ充てることが出来た
- 学校に通える環境が整ったことで不登校も解消
- 基金の活用をきっかけに「家族で家計状況を意識して、節約に取り組むようになりました」との声があった

事例4 子どもへの支援

就労開始・初期支援、初回給与までのつなぎ支援

申請時の状況

- 本人は母と暮らしていたが、母が住居契約を打ち切って単身転居。本人の育児を放棄。
- 子(17歳)は一人となり、児童相談所に一時保護
- その後、寮付きの仕事に就職が決まるが初回給与までの収入がなく、残りの現金もわずかである

その後

- 初回給与までのつなぎとして入寮の際の生活必需品購入と食費を支援
- 無事入寮し就労を開始することができた

事例5 生活安定化支援

就労先の一時閉店にともなう収入減、修学旅行費の大きな出費

申請時の状況

- 母子世帯、子1(次子)人の2人世帯
- 長子は県外の学校へ進学、奨学金とアルバイト代で生活
- 次子もアルバイトをしており、自身の携帯電話代と弁当代に充てている
- 本人の就労先がリニューアルのため一時閉店となり受け取り収入が半分となる
- 母子寡婦福祉資金等を問合せしたが該当しない
- 修学旅行費の支払いもあり、生活が立ち行かない状況
- ※就学援助制度では義務教育が対象であり、高校は就学援助制度対象外のため、制度該当にならず

その後

- 当基金の活用により、一時的な困窮状態を脱した
- 次子も修学旅行へ行くことができた

事例6 就学継続支援

学校諸経費の支払い

申請時の状況

- 母、次子は同居
- 長子は県外の学校で寮生活をしながら進学中(最終学年)
- 長子は奨学金を受けながら生活をしているが、諸経費(クラス費)が払えず払わなければ卒業ができない
- 学校は実習が多くアルバイトは禁止されている
- 長子は国家試験合格を条件に就職が決まっており、合格に向けて勉学に励んでいる

その後

- 当基金の活用により、学費を支払うことができ国家試験にも長子より無事合格しましたとの連絡があった
- 4月からは夢だった職種への就職を叶えた
- 「私も困っている子どもたちを助けられるような、夢を叶える手助けができるような人になりたいと強く思いました」とメッセージが届いた

事例7 職業高校における資格試験受験費用

高教組との連携

申請時の状況

生徒らの状況(一部)

- 合格する学力があるが受験費用が家計負担になる事から受験を躊躇してしまい、資格取得への取組や学校生活全般の意欲が低下してしまった生徒
- 勉学に励みつつも、家計のためにアルバイトをし生活費として親に渡している生徒
- 専門学校進学を希望し、その費用をアルバイト貯金しながら勉学に励んでいる生徒
- 沖縄本島でしか受験できない試験のため、受験費用と渡航費が負担となっている離島の生徒

先生方からの声

- 目標を持ち、いきいきとした学校生活を送り、在学中に資格取得のうえ、希望職種への就職または進学を実現させたい
- 本基金は社会の相互扶助、助け合いの精神で成り立っており、社会に出る前に信頼できる大人のサポートに触れさせたい

事例8 就学継続支援・就学と子育ての両立支援

スクーリング時の子ども預かり支援

申請時の状況

- 本人と子、母、妹の4人世帯
- 平日は子を保育園に預け(日曜日は保育園は休園)、医療関係の仕事に従事している
- 妹は高校で勉学に励んでいる
- 母も就労中(シフト制)のため、日曜日のスクーリング時に子ども(孫)の面倒を見るのが難しい
- 生活状況については本人と母の収入で安定はしている

その後

- 昨年度1年生から基金の活用をしており、今年度も継続して支援している
- 今年度2年生へ進学し、1年時の成績も前後期すべての単位を取得している
- 本人より「昨年度、基金を活用していなければ進学をあきらめていた」「今は進学できたことや卒業に向けて取り組む中で将来の職業選択の幅が広がった」との声が聞かれた
- 将来は働きながら現在働いている医療関係の資格取得を目指した進学を目標としており、自立に向けた目標を立て、それに向かって意欲的に取り組んでいる様子が見える



「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」組織的支援機関※向けアンケートより皆さまからの声(一部抜粋)

※組織的支援機関とは、本来業務として継続的な就職・生活支援をしている機関・組織です。基金の利用は相談者の自立まで支援を行うことを前提に、組織的支援機関との共同申請が必要です。

1 活用前後で自立に向けて改善しましたか？

①改善した = 58 ②改善していない = 4 ③その他 = 3 計 = 65

2 改善したと回答した方へ どのような状況でしょうか？(複数回答可)

① 就職して生活が安定している	16
② 増収している	7
③ 就職しているがまだ厳しい状況	5
④ 就職活動中	2
⑤ 資格を取得した	9
⑥ 子が進学し通学中	3
⑦ その他	28
計	70



【⑦その他】と回答した方たちの状況

- ◆ ゆめ・みらい基金を利用して家賃5.2万円から4.2万円に引越した。同時期に数社からの借り入れと車の購入費をろうきんさんからまとめて借り入れ、利率減。毎月きちんと支払いができています。
- ◆ 子どもの通学費用として支援決定したことで、子が通学できている。
- ◆ 元々就職していたが、理由があって妹との2人暮らしを3月より開始予定。基金で児童手当等受給までの生活費を補てんした。
- ◆ 子どもの学童の初回費用を支援してもらい、子どもも無事に学童入所。それによって、本人の就労時間がのび増収できた。
- ◆ 申請者の子(長女)の離婚に伴う世帯転居により、他の子ら(三女、四女)が転校を余儀なくされた。急に体育着や制服を準備しなければならず、ゆめ・みらい基金で対応ができたことで三女や四女が安心して通学することができている。
- ◆ 申請者が離婚に伴い、子2人と当市へ転入してきて日が浅く、

生活を立て直していくための資金が不足している状態であった。ゆめ・みらい基金により長男の学童代や長女の保育料を支払ったために生じた生活費不足を補うことができた。

- ◆ 看護師国家試験を終え、合格発表を待っているところ。無事受験できたのも、ゆめ・みらい基金で学費を支払うことができ、学業継続できたからです。
- ◆ 基金を活用し、漢字検定や沖縄マラソンなどにチャレンジできたことで自分に自信を持つことができるようになった。学習意欲の向上が見られスポーツや学校行事などにも積極的に取り組む様子が見られるようになった。進路の取り組み(実習)にも意欲的に取り組むことができ、一般就労(障がい者雇用)も決定した。
- ◆ 検定取得で一単位増加、卒業が決定した。
- ◆ 家賃や国保滞納分も解消され、手当支給時に純粋に子らのためにお金を充てられる余裕が出てきた。

3 改善していないと回答した方へ(現状や支援状況)

- ◆ 申請時の支援方針に沿って課題解決の促しをしていましたが、体調不良や仕事の都合がつかず、課題解決の支援が長期化しています。
- ◆ 体調不良などで休むことはあったが、就労継続していました。今年1月に離職し学童費用の滞納と収支バランスの崩れで相談来所しておりました。家計相談などの支援を検討中です。

きてよかったです。

- ◆ 生活保護から抜けて頑張っていたが、電気・ガス・水道代・家賃などの滞納がなかなか解消できずにいた。そんな中でのゆめ・みらい基金は非常に助かった。

【仕事・就学と子育ての両立】

- ◆ 携帯電話が持てたことで、仕事も決まり保育園とのやりとりも行えるようになったとのこと。
- ◆ 職業訓練校に通う中、収入も少なく生活に不安を感じていたが、ゆめ・みらい基金を活用して高額な支払いに一部充てられて少しホッとし、お陰で学校も卒業ができました。
- ◆ 日常の支払いに目処が見つかったことで、長男の就学前の準備や自

活用者の声

【生活安定】

- ◆ 失業中の収入減で家賃等の滞納があった。これを支払うことができ就職して生活を立て直すことができた。
- ◆ アパート代が高いので早めの転居を考えアパート探しをした。足りない転居費用をゆめ・みらい基金で補い、早めの転居がで

身の資格取得をめざす余裕もできた。

- ◆ 転校先の体育着や制服を急いで準備しなければいけない中、ゆめ・みらい基金が活用できたことで、子どもたち(三女、四女)が早めに学校に馴染んで、楽しく過ごすことができています。
- ◆ 子どもにとって必要としている事が出来なかった。視力が悪い娘にメガネを買うことができ「良く見えるよ」と言われると嬉しかったと同時に今までごめんねと反省した。子どもたちは元気になり、不登校も解消された。感謝の気持ちを忘れず頑張ります。

【子どもへの支援】

- ◆ 長女の部活動の遠征費用をゆめ・みらい基金で確保できたことで選抜メンバーとして活躍できました。生活面でも家計相談のアドバイスを受けて見直すことができました。
- ◆ 長男の部活動の遠征費用が確保できたことで、更に充実した学校生活を送ることができています。ありがとうございました。
- ◆ 息子がスポーツ推薦で高校に入学したが、ユニフォームを購入できずにいました。ゆめ・みらい基金のおかげで購入することができ、キャプテンとして頑張っています。ありがとうございました。

【資格取得】

- ◆ 2つの資格を取得できたことで現職に生かせる知識を持ち自身の強みとなり感謝の言葉があった。
- ◆ 今回は英検の検定料を支援していただきありがとうございました。皆様の支援のおかげで無事に準2級に合格しました。母にも経済的負担を少なくできたので、この制度を紹介してくれた分会の先生方にも感謝しています。
- ◆ 高校卒業の学歴が得られて就職を果たし団地に入居でき子育てにも励んでいます。

【その他】

- ◆ 社会から応援されている実感が得られ、今後は社会に還元できるように努力したいという声があった。
- ◆ 夢に向かって子どもを家族だけでは支えられない状況だったので、大変感謝している。多くの人が支えていることに感謝の気持ちを忘れないよう、子どもたちにも伝えていくとのこと。
- ◆ 私のように家庭環境があまり良くなく困っている子どもたちはたくさんいると思います。そんな子たちが私のようにたくさんの支援を受けて夢を追うことができたらいいなと思いました。
- ◆ 担任が自分の努力を認め、評価してくれていることに感動していました。頑張っていること周りはちゃんと見ているよと話すと照れていました。バイトに専念するあまり、勤怠がかんばしくなかったことから、4年間奨学金を手にしたこともなく誉められたこともほとんどなかったのにご褒美をもらえたような気分になっていました。
- ◆ 活用自己の気質として、自身のできることは力を惜しまず尽くすタイプであったが、基金で助けを得たことも小学生の子らに話して聞かせ、これから受けた分の助けを周囲の困っている人に返していけるように過ごしていこうねと教え伝えていた。

支援機関からの声

- ◆ ちょっとした事で生活困窮に陥ってしまうおそれのある母子家庭の相談者にとって本当に必要な支援だと感じています。
- ◆ 通信手段を確保することで、本人の出来ることが一気に増え生き生きしているように感じます。
- ◆ 相談者は安定した職場へ就職も決まり就労継続できています。子ども毎日充実した学校生活を送ることができており支援機関として安心しております。ありがとうございました。
- ◆ 希望条件の会社へ就職することができ、生活安定することができました。貴基金のお陰で世帯の状況に寄り添って必要な支援を行うことができ、成果が出せたことに感謝しております。
- ◆ 日常的に支払いに追われている相談者は更に急な出費が発生すると本当に厳しい状況に陥ってしまう。「今この時」に手が届く支援は本当にありがたい存在です。
- ◆ 他の制度で対応できない状況でも、子どもにいる世帯に特化した唯一の支援(ゆめ・みらい基金)があることで、これまでにない支援内容を紹介することができ助かりました。
- ◆ 金銭面での不安を和らげたことで、本人の就労にも上手く繋ぐことができた。返済などもないことが本人にとってもすごく良かったようです。
- ◆ 本人は増収のためのスキルアップを目指して、専門学校へ通っており非常に努力している様子がみられたため、何か支援できる制度がないかと考えたときに、ゆめ・みらい基金ができていた。ひとり親で頑張る方への支援として素晴らしいと感じた。
- ◆ 生活保護から抜けた世帯が安定できるようになるには、かなりの力が必要になってくるため、その力添えをしていただける制度はすごく重要だと思う。
- ◆ 既存の支援制度やサービスでは対応できないニーズについて手当していくことで、子どもが安心して育つ環境をつくっていくことができる、そのようなゆめ・みらい基金は意義深いものだと感じました。
- ◆ 離婚して間もないひとり親世帯は、児童扶養手当受給まで時間がかかるため、生活立て直しのためにゆめ・みらい基金が活用できることは大変ありがたく思います。
- ◆ 当初は、主へ親権をゆだねていた夫だったが、突然親権を取りたいと訴えてきて状況が一変。子どもたちの生活と仕事、離婚調停と精神的に追い込まれている主に対して、フードバンク以外提案できるものはなく、ゆめ・みらい基金を提案。支給できて主の安心した表情が忘れられません。さまざまな制度があっても対象とならない場合、支援機関としても行き詰ってしまいますが、そんな時にとても助けられています。どうもありがとうございます。
- ◆ 他方活用後の最後の砦となる「ゆめ・みらい基金」は利用者や支援機関、または支援機関同士の信頼関係構築に一翼を担う存在となっております。支援員の気持ちも救われています。
- ◆ 今回初めて漢字検定にチャレンジすることができ、またそれに向けて本人が努力する姿も見られ合格できたことで達成感を得られることができたと思います。
- ◆ 目標に向かって頑張る背中をぐっと押し上げている印象を感じた。特に授与者を教頭にしたことでより重みが生徒に伝わっているようでした。
- ◆ ゆめ・みらい基金は生徒のやる気と可能性を引き出す宝箱です!!

✦2018年度「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」収支報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)

基金の残高

【収入】

項目	金額	内容
前期繰越金	12,622,252円	
団体寄付金	3,005,699円	各労働組合、全通共済会、ろうきん各地区推進委員会、スーパー駅伝大会事務局等
個人寄付金	4,296,917円	個人より100万円寄付あり
ろうきん社会貢献寄付商品拋出金	1,074,200円	
こくみん共済 coop社会貢献寄付商品拋出金	1,156,200円	
雑収入	6,150円	受取利息
合計	22,161,418円	

【支出】

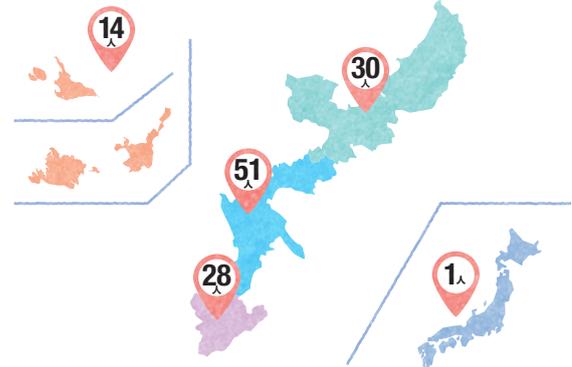
項目	金額	内容
(使途別)		
① 移動手段	262,360円	14件
② 通信手段	53,500円	4件
③ 資格取得	0円	0件
④ 就職活動支援	5,000円	1件
⑤ 就労開始・初期	229,400円	5件
⑥ 生活安定化	2,354,648円	50件
⑦ 子育てと仕事の両立	76,200円	2件
⑧ 子どもへの支援	1,127,740円	28件
⑨ 若者への支援	0円	0件
⑩ 就学と子育ての両立	1,030,850円	12件
⑪職業高校・資格試験	443,410円	38件
⑫その他(切手代等)	34,000円	2件
⑬移動手段(貸出)	0円	1件 ※保管自転車1台貸出
⑭通信手段(貸出)	36,936円	3件
⑮パソコン貸出支援	0円	0件
小計	5,654,044円	160件(124人)
(その他)		
消耗品費	1,280円	
通信運搬費・燃料交通費	24,357円	お礼状送付切手・ガソリン及び高速料等
諸謝金	24,000円	基金運営委員会
保険料・雑費	11,228円	自転車利用時傷害保険料・振込手数料等
小計	60,865円	
合計	5,714,909円	

【収支計】

収入計	22,161,418円
支出計	5,714,909円
繰越金額	16,446,509円

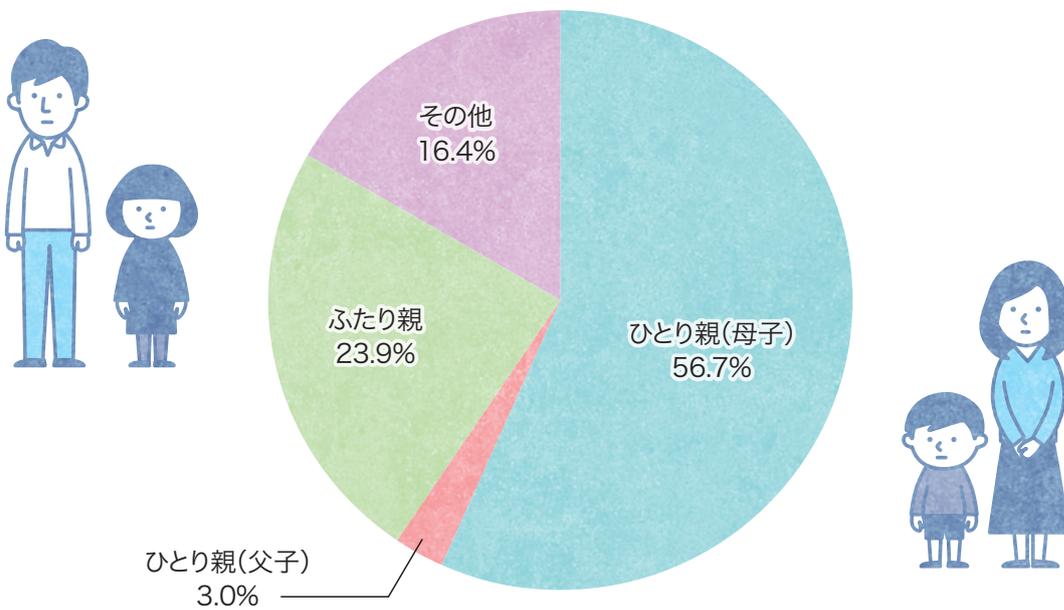
申請者地区別一覧

地区	支援人数
北部地区	30人
中部地区	51人
南部地区	28人
宮古・八重地区	14人
県外	1人
合計	124人



申請者世帯別割合

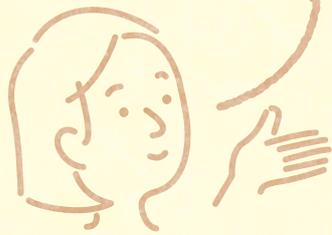
- ひとり親(母子・父子合わせて) **約60%** 一人親の経済状況の厳しさ
- ふたり親 **約24%** 両親共働きでも十分に生活できる所得がない家庭の現状
- その他 **約16%** 親の育児放棄で祖父母が養育している家庭の存在



主な申請機関

- 生活困窮者自立支援事業
(名護市、うるま市、沖縄市、宜野湾市、浦添市、那覇市、豊見城市、南城市、各町村)
- 高教組 (各学校の先生方)
- 社会福祉協議会
- ゆいはあ〜と (南中北部)
- 母子生活支援施設
- 労福協自主事業

基金に よせられた声



支援を受けた方から



私の、せいぶく代'を支えんして下さい、本当にありがとうございます!おかげ'様で、明るく学校生活を'お'くれています!この様'よ、きかい'が'あ'って、うれ'しいです!お母'さんや、家族'友達'にも、このせい'ぶくが'いい'にあ'っている'ときいて、とてもうれ'しかた'です!このせい'ぶくが'ない'と、学校'もい'け'なかつた'し、楽'しい生活'が'い'け'なかつた'と思'います!本当に'あ'りか'とう'ござ'い'ました!

妹'が!私'が'つけて'いる'のを'みて、'早く、中'学校'で'つ'け'たい!'とい'って'いま'した!私'にと、て'も、家'族'にと、て'も'うれ'しいし'ゅん'かん'で'した。あ'りか'とう'ござ'い'ます!



「ゆめ、ゆめ、きみ」のおかげで
孫'の'学'費'に'ついて'は'会'費'も'払'う'事'が'決'ま'り'活'助'か'ま'した。
目'の前'が'暗'く'な'つ'て'居'る'の'が'、と'も'明'く'な'り'本'当'に'て'は'こ'の'未'来'の'ス'タ'ー'の'方'に'変'え'い'れ'こ'とも'感'謝'し'て'居'る。
私'達'が'受'け'て'又、助'け'て'お'う'て'居'る'事'を'忘'れ'ず、私'達'も'こ'の'こ'に'誰'か'を'助'け'て'お'う'て'居'る'事'を'思'い'ます。
本'当'に'あ'りか'とう'ござ'い'ました。



今回、大きなお金の支援をいただく事に本当に感謝しています。本当にありがとうございます。

前回と今回 二のにおに支援していただけた事は本当に助かりました。私のように家庭環境があまり良くなく困っている子ども達にたくさんいると思います。そんな子どもたちが私のようにたくさんのお金を受けて夢を追うことができればいいなと思いました。

私は今看護師になるために頑張っています。この5年間本当にたくさんの方に支えられてきました。その人たちの恩返しでもあるため絶対に国家試験に合格します。

そして私も困っている子ども達を助けられるような、夢を叶える手助けができるような人になりたいと強く思いました。

世界中の子ども達が自分の夢を全力で追える環境を作って子ども達が幸せな環境を作、ていけるように手助けをしていきたいと思いました。

今回 前回と同じように本当に感謝しています。





糸合付を受けることができ とても感謝
しています。ありがとうございました。
自分達では、子供にとって必要とする
事ができなくて困っている時に このような
基金があることを知り 子供のために利用
させていただきました。その中でも一番うれし
かった事は、視力が悪くてメガネが必要と
されたのに買ってあげられず我慢をさせて
いたけれど、今回メガネが買って「よく見えるよ、
と言われて今までごめんねと反省しました。
助けていただき 本当にありがとうございました。
感謝の気持ちを忘れずにがんばっていきます。



私は、部活で選抜メンバーに選ばれずごう
れしかたです。その反面、部活にかかる費用
や、全国派遣に選ばれた際の費用など、
お母さんに迷惑をかけてしまうのではばい
か、とても不安でした。しかし、「ゆめみ
らい基金のおかげで、全国派遣にも選ば
れ、何も心配することなく行くことが
できました。この機会を通して、私は、仲
間の大切さ、挑戦することはいいことだ
と学ぶことができました。また、お互い
に助けあうことの素晴らしさを実感でき
ました。
感謝の気持ちでいっぱいです。本当に
ありがとうございました。



「ゆめ・みらい基金」のおかげで、本当に助かりました。
ありがとうございます。母子家庭で2人の子が居ます。
失業して、中々就職も決まらず、生活費もどうしようか
悩んでいた所、役所の方に、こういう制度がある事
を教えてもらい、支援を受ける事が出来ました。
感謝の気持ちでいっぱいです。
就職するまでの間、本当に助かりました。
これからも、この制度は、ずっと続けてほしいと思います。
ろうきんさん、役所の方、又、基金の寄付をして頂いた方々
みな様、本当に、ありがとうございました。



ゆめ・みらい基金のおかげで4月に入学予定の娘の
ランドセルや女房具を買うことができました。
初めて心に余裕をもって大きな買い物をする事ができ
ました。ゆめ・みらい基金の制度を教えて下さり
感謝しております。ありがとうございました。



マルイチゴウマル
**<0150 ゆめ・みらい運動!>に
 ご参画をお願いします!**

マルイチゴウマル

〈0150 ゆめ・みらい運動!〉とは、「1人一口50円(月額)の寄付で、沖縄の子ども達の夢と未来を支えよう!」というもので、本基金を通じ、「子どもの貧困」とその根底にある「親の貧困」問題の改善・解決をめざす運動です。〈ろうきん〉の普通預金口座をお持ちの方なら「定額自動寄付」※のお申し込みをいただくことで、どなたでもご参画いただけます。

2018年度は、〈ろうきん〉各地区推進委員会や友の会、労働団体の取り組みにより累計3,116,500円(2018年4月～2019年3月)の寄付がよせられ、2019年3月現在では「5,766口(月額288,300円)」のお申し込みをいただいております。運動をすすめていただきましたみなさまに、心より感謝申し上げます。

〈ろうきん〉と〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉では、基金の安定運営に向け「10,000口(月額50万円)」を目標に今後も運動を展開していきます。「10,000口」を達成することができれば、基金の安定運営が実現するだけでなく、会員や協力団体の意見・要望を叶えるカタチでの支援の拡充につなげることができると考えています。

※「定額自動寄付システム」= 毎月ご希望の寄付額(1口50円とした定額)を、ご指定のろうきん口座から自動振替により基金へ寄付する制度。

目標 1万口!
 (月50万円・年間600万円)

達成することで、基金の安定運営と、
 会員・協力団体の希望を踏まえた支援の拡充につなげよう!



各会員・協力団体構成員(組員・共済会員等)への参画の呼びかけについて

「定額自動寄付システム」は、多くの方が無理なく(缶ジュース1本程度の節約で)参画できるように、一口あたりの申込み額を50円としました。また、「支えられた人が、支える側として参画しやすいように」という思いも込めた設定額としています。

引き続き多くの会員・協力団体の構成員のみなさまに「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」を知っていただき、「共助の輪」を広げる取り組みへご参画いただくため、各組織の定期大会(総会)議案書や機関誌へ基金の関連情報を掲載いただき、構成員のみなさまへ参画を呼びかけていただきますようお願いいたします。

(〈沖縄ろうきん〉・〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉のホームページにも基金に関する情報を掲載しています。どうぞご活用ください。)

私たちは、子どもの夢と未来を支える取り組みを共にすすめています

2017年度 団体寄付一覧

労福協共済会
 全糖労久米島製糖支部
 琉薬労働組合
 琉球製罐労働組合
 沖縄食糧労働組合
 UAゼンセン 沖縄県支部
 沖縄通信建設労働組合
 マルキ産業労働組合
 (公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
 沖縄ターミナル労働組合
 沖縄東芝労働組合
 沖縄ヤマト運輸労働組合
 運輸労連沖縄県連合会
 ホテルアリビラ労働組合
 沖縄国公労那覇植防分会
 ホームル労働組合
 全糖労宮古製糖支部
 北部地区労働組合協議会
 全日本自治団体職員労働組合沖縄県本部
 全糖労石垣島製糖支部
 西表島交通労働組合
 全糖労沖縄製糖支部
 沖縄県教職員組合八重山支部
 ニライ消防職員協議会
 那覇市職員労働組合
 那覇市臨時非常勤職員労働組合
 沖縄ロジテム労働組合
 国立大学法人琉球大学労働組合
 沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
 沖縄バス労働組合
 沖縄キリスト教学院教職員組合
 琉球新報発送労働組合
 全駐労沖縄地区本部
 全日本たばこ産業労働組合沖縄支部
 沖縄電力関連産業労働組合総連合
 沖縄県教職員組合国頭支部
 沖縄県教職員組合

2018年度 団体寄付一覧

連合沖縄那覇 南部地域協議会
 全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
 第一労働組合

沖縄富士通システムエンジニアリング労組
 沖縄県労働金庫労働組合
 沖縄電力生活協同組合
 琉球セメント労働組合
 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
 高教組中部支部 はなさき分校
 中部観光バス労働組合
 おもろまち地区推進委員会
 高教組 宮古支部
 リウボウ商事労働組合
 沖縄ターミナル労働組合
 沖縄県労働金庫
 沖縄電力関連産業労働組合総連合
 沖縄県教職員組合国頭支部
 琉球製罐労働組合
 西表島交通労働組合
 学友館共済会
 こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部
 こくみん共済 coop(全労済)指定整備工場沖縄協議会
 おきさん労働組合
 連合沖縄
 読谷村職員労働組合
 一般社団法人 沖縄全通共済会
 浦添地区推進委員会
 沖縄県教職員組合那覇支部
 全糖労久米島製糖支部
 沖縄県教職員組合
 北谷町職員労働組合
 運輸労連沖縄県連合会 定期大会
 コザ地区ろうきん友の会
 沖縄県職連合宮古支部
 労福協共済会
 本店地区推進委員会
 沖縄県市町村職員共済組合職員労働組合
 普天間地区推進委員会
 コザ地区推進委員会
 沖縄県教職員組合島尻支部
 沖縄県職連合・全水道沖縄県企業局労組
 (スーパー駅伝大会実行委員会)
 沖縄県教職員組合八重山支部
 国頭村役場職員互助会
 日本トランスオーシャン航空労働組合
 航空連合沖縄
 公益社団法人 沖縄県母子寡婦福祉連合会

沖縄都市モノレール労働組合
 沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
 公立はこだて未来大学 マリンITラボ
 マリンITワークショップ2019いしがき
 全日本たばこ産業労働組合沖縄支部

2019年度 団体寄付一覧 8月現時点

全糖労石垣島製糖支部
 全駐留軍労働組合沖縄地区本部
 地域むすびくらぶ
 沖縄電力生活協同組合
 沖縄県教職員組合八重山支部
 沖縄電力労働組合 名護分会
 琉球セメント労働組合
 沖縄県教職員組合国頭支部
 沖縄電力労働組合
 おもろまち地区推進委員会
 沖縄県教職員組合島尻支部
 マルキ産業労働組合
 沖縄県教職員組合那覇支部
 琉球新報発送労働組合
 (公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
 琉球製罐労働組合
 ありあけ保育園互助会

定額自動寄付による支援団体

NPO法人 街のえんがわ山桃
 沖縄県労働金庫労働組合
 沖縄県労働金庫共済会
 沖縄県職労 北部支部 北部病院分会
 オリオンビール労働組合
 八重山地区労金友の会
 やんばる麦の芽会
 イオン琉球労働組合
 那覇市職労 水道支部
 沖縄県職連合 宮古支部
 全糖労沖縄製糖支部
 沖縄県教職員組合 宮古支部
 自治労石垣市職員労働組合
 自治労連宮古島市職員労働組合

支援団体(預り保育場所提供)

宜野湾ナザレン教会

マルイチゴウマル
**<0150 ゆめ・みらい運動!>に
 ご参画をお願いします!**

マルイチゴウマル

〈0150 ゆめ・みらい運動!〉とは、「1人一口50円(月額)の寄付で、沖縄の子ども達の夢と未来を支えよう!」というもので、本基金を通じ、「子どもの貧困」とその根底にある「親の貧困」問題の改善・解決をめざす運動です。〈ろうきん〉の普通預金口座をお持ちの方なら「定額自動寄付」※のお申し込みをいただくことで、どなたでもご参画いただけます。

2018年度は、〈ろうきん〉各地区推進委員会や友の会、労働団体の取り組みにより累計3,116,500円(2017年7月～2019年3月)の寄付がよせられ、2019年3月現在では「5,766口(月額288,300円)」のお申し込みをいただいております。運動をすすめていただきましたみなさまに、心より感謝申し上げます。

〈ろうきん〉と〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉では、基金の安定運営に向け「10,000口(月額50万円)」を目標に今後も運動を展開していきます。「10,000口」を達成することができれば、基金の安定運営が実現するだけでなく、会員や協力団体の意見・要望を叶えるカタチでの支援の拡充につなげることができると考えています。

※「定額自動寄付システム」= 毎月ご希望の寄付額(1口50円とした定額)を、ご指定のろうきん口座から自動振替により基金へ寄付する制度。

目標 1万口!
 (月50万円・年間600万円)

達成することで、基金の安定運営と、
 会員・協力団体の希望を踏まえた支援の拡充につなげよう!



各会員・協力団体構成員(組員・共済会員等)への参画の呼びかけについて

「定額自動寄付システム」は、多くの方が無理なく(缶ジュース1本程度の節約で)参画できるように、一口あたりの申込み額を50円としました。また、「支えられた人が、支える側として参画しやすいように」という思いも込めた設定額としています。

引き続き多くの会員・協力団体の構成員のみなさまに「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」を知っていただき、「共助の輪」を広げる取り組みへご参画いただくため、各組織の定期大会(総会)議案書や機関誌へ基金の関連情報を掲載いただき、構成員のみなさまへ参画を呼びかけていただきますようお願いいたします。

(〈沖縄ろうきん〉・〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉のホームページにも基金に関する情報を掲載しています。どうぞご活用ください。)

労働者福祉事業をつうじた社会貢献

ろうきんの取り組み

◆ 社会貢献寄付商品による基金の安定運営支援

ろうきんでは、ご利用いただいたお客さまの笑顔が、同じ働く仲間や、その大切な人の笑顔につながるよう、社会貢献寄付商品を選定し基金の安定運営を支援しています。2018年度につきましては、下記の社会貢献寄付商品の新規ご利用1件につき200円を(ろうきん)が負担し、総額1,116,400円(5,582件)の寄付金を拠出します。2016年度からの累計で、3,422,400円の寄付金を拠出し、基金の安定運営を支援しています。

対象商品の新規ご契約1件につき、200円を当金庫が負担し、本基金へ拠出します。

預金商品・私的年金制度商品	財形貯蓄、エース預金、iDeCo（イデコ※個人型確定拠出年金）
融資商品	教育ローン、福祉ローン、カードローン、自動車ローン

◆ わしたシマづくり運動

沖縄ろうきんATM、または提携するイオン銀行ATMやセブン銀行のお取り扱い（お引き出し・ご入金取り引き1件につき2円）に応じて、寄付金額を積み立て、地域で活躍する非営利団体等や「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」へ寄付することでその活動を支援しています。

こくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部の取り組み

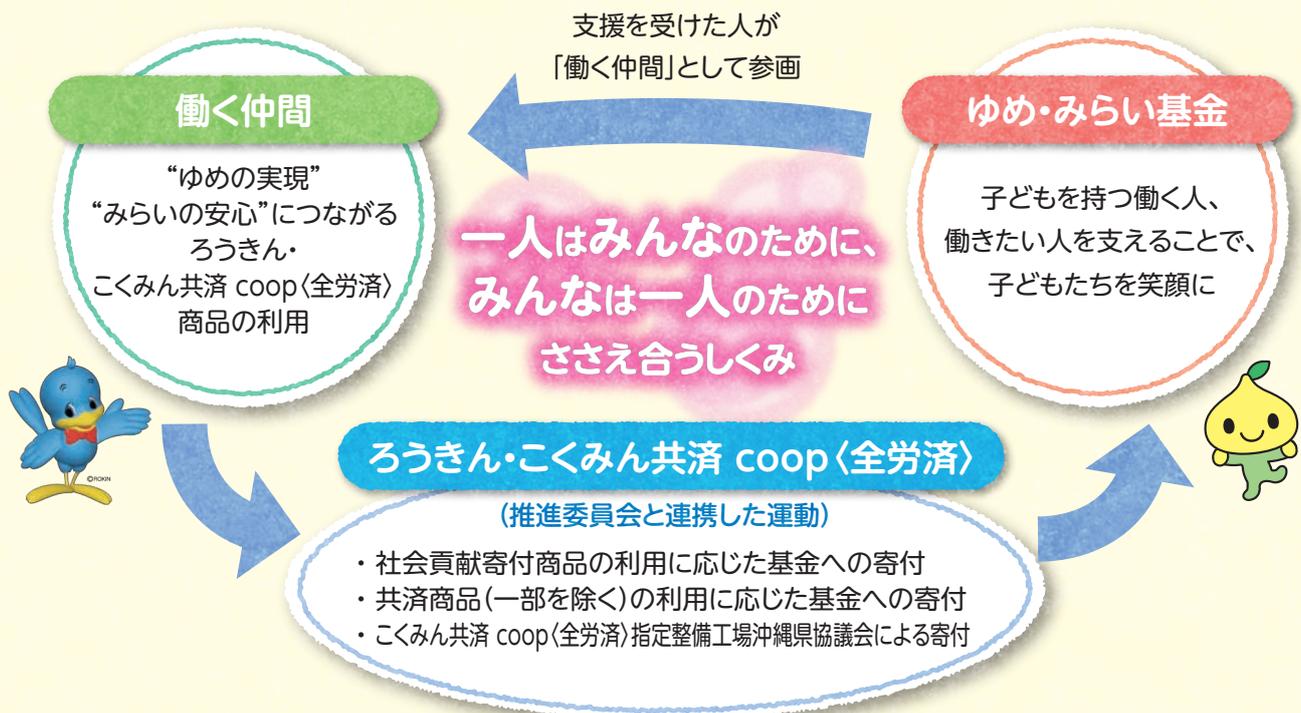
◆ 共済商品利用、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場と連携した安定運営支援

すべての共済商品（慶弔共済・自賠責共済を除く）の事業年度あたりの新規契約件数に対して100円の寄付を実施します。

2018年度につきましては、総額1,187,100円の寄付金を実施します。

また、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会でも組合員の車検入庫1台につき100円を工場が寄付する取り組みを行っており、2018年度は、総額413,700円の寄付を実施します。

※こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場はP15で案内しています。



「共助」が「共感」により支えられ、「循環」する共生社会へ

お父さん、お母さんが笑顔じゃないと、 子どもたちを笑顔にできない



ゆめ・みらい基金による支援を受けられた方へ

ゆめ・みらい基金は、困難を抱えながらも、「大切な子どものために」現状を変える努力をされているお父さん、お母さんを「ゆいまーる」の心で支えたいという、働く仲間の思いが詰まった基金です。

「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金(以下、ゆめ・みらい基金)」創設のため、ろうきんの会員は活動資金の一部を寄付金として拠出し、また各地域のろうきん推進委員会は基金創設とその後の安定運営に向けた活動を支援しています。2018年度からは、〈こくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部〉と、その協力団体、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会も支援の輪に参画しました。この基金に関わる多くの方が、「子どもたちの夢と未来を支えたい」「働く仲間を、働く仲間の手で支えたい」といった熱い思いで携わっています。また、そのような支援者を増やすために、(公財)沖縄県労福協・連合沖縄・ろうきん・こくみん共済 coop〈全労済〉の役職員のみなさまが日々汗を流し、取り組みを進めています。ゆめ・みらい基金による支援の向こう側には、そのような思いを持つ多くの仲間がいます。困難を抱える中でも、決して、一人ではありません。

ゆめ・みらい基金による支援が「働くこと」につながり、生活の安定を実現することは、子どもたちの生活・教育環境の改善につながっていきます。また、支援を受けた方が「次は支える側へ」という循環をうみだすことが、このゆめ・みらい基金の安定運営につながり、同じように困難を抱える方を支えることにつながっていきます。

みなさまと共に、「共助・共感」の輪を広げる運動をすすめていくことは私たちの願いです。ぜひ、定額自動寄付や、ろうきん・こくみん共済 coop〈全労済〉利用をつうじた共助拡大の運動にご参画ください。

基金を支援しているみなさまへ

子どもは私たちの夢、未来そのものです。子どもたちの描く夢が、沖縄のよりよい未来を築いていきます。基金運営事務局として、みなさまの思いのこもった本基金を大切に活用し、子どもたちの人生、そして沖縄の未来が明るい未来となることをめざして取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

基金運営事務局 (公財)沖縄県労働者福祉基金協会



2016年9月、会員団体・県内各労働団体とともに、「ろうきん働く仲間のゆめ・みらい基金」を創設しました!



地区推進委員会イベントで会員のみなさまにもご参画いただいています。温かいお気持ちに感謝です!



沖縄全連共済会より贈呈式

子どもたちに 笑顔をはりげたい!



ろうきん 全労済
働く仲間のゆめ・みらい基金
～子どもは私たちの、ゆめ・みらい～

検索 ゆめ・みらい基金

ゆめ・みらい基金の詳細をご覧ください。

「働く仲間のゆめ・みらい基金」は、「働く(自立)」につなげていくことを基本に
以下のような支援に取り組んでいます。

✳ 養育する子がいる世帯の親などへの就学・就労支援および生活支援など

✳ 職業資格取得等にチャレンジする就学生(高校生)への支援

✳ 児童園等福祉施設退所者への自立支援

沖縄県内の「こくみん共済 coop 〈全労済〉指定整備工場」は、車検入庫
1台あたり100円を子どもたちの未来のために寄付します。

車検は私たちに
おまかせください。

2019年6月より順次
看板を掛替しております。



沖縄県内の「こくみん共済 coop 〈全労済〉
指定整備工場」で車検を受けていただく
ことにより、沖縄の子どもたちの
支援に役立つことができます。

預けて安心、こくみん共済 coop 〈全労済〉23の指定工場ネットワーク

那覇市 (資)新興自動車商会 〒900-0011 那覇市上之屋311 ☎ 098-868-2821 エネオス天久店給油所隣 (有)久茂地オートサービス 〒900-0015 那覇市久茂地2-24-1 ☎ 098-861-7482 ゆいレール美栄橋駅北口	糸満市 南部モータース 〒901-0303 糸満市兼城339-1 ☎ 098-994-6200 TSUTAYA糸満店2件隣	北中城村 照屋自動車整備工場 〒901-2304 北中城村屋宜原226 ☎ 098-932-0147 ライカム交差点から普天間向け150m左	北谷町 ロータスゲイトワン整備工場 〒904-0111 北谷町砂辺365 ☎ 098-936-2130 第一ゲート前、センターサービス給油所隣	高島町 ロータス東和オート 〒906-0012 宮古島市平良字西里894-2 ☎ 0980-73-0505 BIG1からメイクマン向け300m右側
豊見城市 海邦オートサービス 〒901-0231 豊見城市字我那覇666番地 ☎ 098-987-1434 県道256号線沿い高連名墓地インター出入口近く	南風原町 (株)大橋自動車販売 〒901-1104 南風原町宮平345-1 ☎ 098-888-2411 ジャスコ南風原店隣映画館道向かい (株)南風原整備センター 〒901-1111 南風原町兼城526 ☎ 098-888-1111 マックスバリュー日橋店向かい	西原町 (合)當山自動車販売 〒903-0129 中頭郡西原町千原58-1 ☎ 098-946-6468 動物病院22時近く (有)大橋自動車販売 〒903-0121 中頭郡西原町字内園480-2 ☎ 098-917-1033 ハートライフ病院近く	嘉手納町 (有)ナカダ自動車商会 〒904-0205 嘉手納町字兼久370-1 ☎ 098-956-4602 ネーブルカテナ道向かい	読谷村 喜友名自動車サービス 〒904-0322 読谷村波平1628 ☎ 098-958-4885 タウンプラザがねびで読谷店信号をアリア向け100m右
浦添市 (株)ヒーロー 〒901-2101 浦添市西原6-16 ☎ 098-878-4444 和風亭浦西店ならび、浦西中道向かい 人情るまや 三和自動車(株) 〒901-0617 浦添市西原1-3-3 ☎ 098-877-2107 パークレースコート道向かい	南城市 (株)禅自動車サービス 〒901-1117 南風原町字津嘉山1162-1 ☎ 098-889-8810 南風原高校隣 (有)愛地モータース 〒901-0617 南城市玉城字愛地362-1 ☎ 098-949-7641 稲嶺十字路を船越小学校向け1.5km先右	沖縄市 宮平自動車整備工場 〒904-0006 沖縄市八重島2-12-17 ☎ 098-937-9496 市民会館近く、中部観光バス左隣	名護市 喜友名自動車工業(オートサム北部) 〒905-0006 名護市字茂佐1607 ☎ 0980-52-0393 スーパーホテル信号を屋敷部向け500m左	石垣市 仲嶺自動車整備工場 〒907-0002 石垣市真栄里448-1 ☎ 0980-83-1639 八里山保健所西隣 ロータス宮良自動車 〒907-0004 石垣市登野城869-5 ☎ 0980-82-2216 「あころ木」斜め向かい

お気軽にお電話ください。 ●車検は1ヵ月前から受けられます。
即お見積もりいたします!

●お電話のおかけ間違いにご注意ください。 ●車検整備を受けられる際には、「こくみん共済 coop 〈全労済〉の組合員です」とお申し出ください。

ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金 定額自動寄付システムのご案内

(この用紙は、コピーしてご利用いただくことも可能です。)

本用紙に必要な事項を記入いただき、お近くのろうきんまでご提出ください。

ろうきんにて、ご希望の金額の登録をします。

お申込みいただいた内容にもとづき、ご希望の寄付金額の登録を行います。事務手続きのため、開始まで約1ヶ月程度かかることがあります。

お客様の口座から、口座振替を開始します。

お申込みいただいた内容で、ご寄付を開始します。振替日は25日です。25日がろうきんの休業日の場合は翌営業日になります。

■寄付金額等について

寄付金額設定は1回につき50円以上、50円単位でお願いします。
寄付を終了する場合（ご辞退）は、窓口まで届出をお願いいたします。
基金の継続的な運営支援にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

■口座振替手数料はろうきんが負担します。

通帳でご寄付内容をご確認ください。
通帳には「ユメ ミライキキン」と印字されます。

■領収書の発行は控えさせていただきます。

基金運営に係る経費を削減し、寄付金を最大限支援に活用するため、領収書の発行は控えさせていただきます。確定申告等に使用するため、領収書をご希望の方は、通信欄にその旨をご記入ください。

※なお、ご希望された方の領収書については、毎年2月に前年1年分を取りまとめ、送付させていただきます。

ご辞退・(ご変更)は1ヶ月前にお届けください。

ご辞退や金額変更等は、届出をいただいてからろうきんの引落しが中止(変更)になるまで1ヶ月ほどかかります。お早めにお届けいただきますよう、お願いいたします。

「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」定額自動寄付申込書

お名前	フリガナ														
	漢字														
おこと	郵便番号	おでんわ (- -)													
	都道府県														
1	ご寄付月	1回ごとのお引落金額 (50円以上、50円単位)					お引落回数	年間ご寄付金額							
	毎月	十	万	千	百	十	円	×	年12回	=	百	万	千	百	十
通信欄(確定申告等に使用するため、「領収書」をご希望の方は、その旨ご記入ください。また、お申込みのきっかけや動機などについてもお聞かせください。)															



20 年 月 日

預金口座振替依頼書 沖縄県労働金庫 御中

新規	本依頼書のとおり、私名義の指定預金口座から口座振替の方法により支払うこととしたいので、下記規定を確認のうえ依頼します。
変更	今般、都合により本依頼書のとおり変更しますのでお届けします。
解約	今般、都合により本依頼書のとおり解約しますのでお届けします。

収納企業(団体)名	(公財)沖縄県労働者福祉基金協会										金融機関届出印
フリガナ											
預金者名 (法人の場合はお届けのとおり代表者名も記入)											
金融機関名	沖縄県労働金庫					支店・出張所					
預金種目	1. 普通(総合)					口座番号					
金融機関コード	2	9	9	7	支店コード						

金融機関使用欄	(不備返却事由)		
	1. 預金取引なし	3. 印鑑相違	
	2. 記載事項等相違	4. その他	
	店名、預金種目、口座番号、口座名義(備考)		
検印	印鑑照合	受付印	
(CIF:)			

寄付金(自動会計)

振替先名称	振替金額	備考	自振コード
ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金	定額自動寄付申込書のとおり		47420028
振替日・払込日		25日(金融機関休業日は、翌営業日)	

- 預金口座振替規定**
- 私が口座振替を依頼した表記の取扱いについては、私の指定預金口座から以下のとおり引落しのうえお支払ください。
 - 指定預金口座の残高が支払日において請求書または表記の記載金額に満たないときは、私に通知することなく請求書の返却、振替の中止が行われてもさしつかえありません。
 - 引落しにあたっては、預金規定または当座勘定規定にかかわらず通帳および普通預金払戻請求書の提出または小切手の振出はいたしません。
 - 私の指定預金口座からの引落しにあたっては、貴金庫所定の順序で引落してください。
 - 貴金庫の都合により、振替日に指定預金口座から引落しできなかったときは、この日以外の日に引落し振替えても異議ありません。
 - この預金口座振替契約を解約するときは、貴金庫所定の書面によりお届けします。なお、この届出がないまま、私が指定預金口座を解約した場合、また長期にわたり引落し請求がない場合、その他、貴金庫が必要と認めるときは、私に通知することなくこの契約を解除されても異議ありません。
 - この取扱いについて、かりに紛論が生じても、貴金庫には迷惑をかけません。



検印	精査印	取扱者印
(本部)		

2019年8月現在

「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」に関するお問い合わせ先